

特集

チャレンジ!

ごみ

げん りょう  
減量!

私たちが毎日出しているごみ。ごみ減量アクションをチェックして  
ごみ減量マスターを目指しましょう!

環境課

YES

買い物に行くときは、  
いつもマイバッグを  
持っています



スタート

余分な包装は断ります



YES

NO

NO

YES

容器包装マークの意味を  
全て知っています



YES

食事はつくり過ぎず、  
適切な量を  
心がけています



NO

NO



クリーンヒル宝満のごみピット

私たちが毎日出しているごみは、収集された後、処理施設であるクリーンヒル宝満に運ばれ、資源として再利用する処理が行われています。  
筑紫野市からクリーンヒル宝満に搬入されている、1年間のごみの量は約3万トン。1世帯あたり年間600キログラム以上のごみを出している計算になります。このごみを減らしていくにはどうしたらいいのでしょうか。まず、ごみの中には何が入っているのか、内訳を知ることが大切です。

年間3万トンのごみ

Master



## ごみ減量マスター

地域の皆さんにも  
ごみ減量を広げてみましょう！

Gold



## ごみ減量ゴールド

この調子でごみ減量アクションを  
続けてください！

Silver



## ごみ減量シルバー

ご協力ありがとうございます。  
次のステップにチャレンジ！

## ごみ減量にご協力を

小さなごみ減量の積み重ねが大切。  
できることから始めましょう！

買いだめをせず、  
計画的に買い物をして  
使っています



詰め替え製品を  
積極的に選んでいます



メモ用紙などの雑がみも  
地域の資源ごみ回収に  
出しています

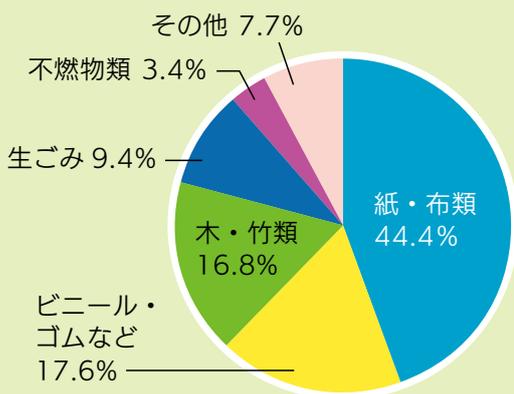


YES

YES

YES

NO



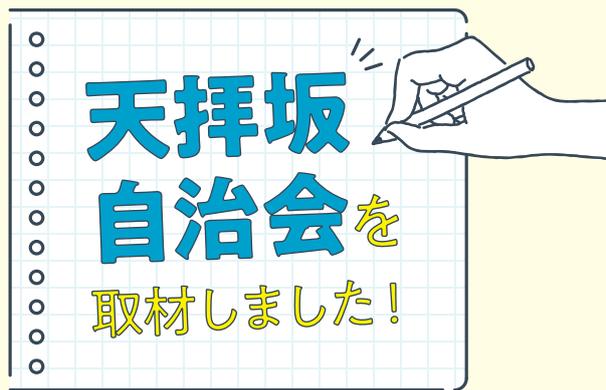
可燃物の内訳(令和2年度)

最も多いのは「紙・布類」  
可燃物の中に最も多く(重く)  
含まれるのは「紙・布類」です。  
この紙ごみを減らすことがご  
みを減らすことの近道になり  
ます。  
次に多いのは、ビニール、ゴ  
ム、プラスチックなど。その次  
には、剪定された木の枝など  
の木・竹類。そして生ごみが約  
9%。不燃物類が3%程度含ま  
れていることも注意が必要で  
す。



ごみの置き場が指定され、皆さんがルールを守って資源ごみを出します

各地域で行われている資源ごみ集団回収(古紙などの回収)。方法や頻度は地域によってさまざまです。その中でも一世帯当たりの回収量が多い天拝坂自治会の栗原自治会長に話を聞きました。



継続すること  
自主的な資源ごみ回収を



自治会長 栗原 秀峰さん

天拝坂自治会では、毎月第1・3金曜日の朝にごみ収集ステーション(不燃物収集場所)で資源ごみを回収しています。自治会では年間の回収日をお知らせするなどしていますが、「特別なことはしていません」と栗原自治会長は話します。「以前は自治会の回覧などで資源ごみ回収への協力を要請していました。また、回収対象ではないごみがあり自治会で後始末をしていた時期もありましたが、回収できない旨の貼り紙をするようにしました。啓

発を継続すること、ルールを正しく知ってもらうことが根付き、現在は皆さんマナーを守って自主的に回収に協力してくれていますよ」

「ごみを減らし  
ごみのないまちへ

資源ごみ回収によって得た収入は自治会活動費として活用しています。

「道にごみが落ちていたら気付いた人が拾えるように、火ばさみやほうきを購入し、各組に設置しました。ごみを減らし、まちがきれいになればいいですね」と話してくれました。

### 資源ごみ集団回収奨励金

ごみ減量推進を目的に、家庭から排出される資源ごみ(新聞紙、ダンボールなど)を回収する団体に奨励金を交付しています。

- 対象 地域の環境衛生推進員の承認を得た団体(自治会、子ども会など)
- 奨励金額 1kgにつき8円

## 白色トレイ、紙製容器包装、紙パックはリサイクルボックスで回収しています

(食品用)白色トレイ、紙製容器包装、紙パックは、市公共施設や公民館など市内35カ所に設置しているリサイクルボックスで回収しています。(一部の品目のみのところがあります)

白色トレイは、回収している店舗に、紙パック・紙製容器包装は資源ごみ集団回収に出すこともできます。



リサイクルボックス



プラスチック製  
容器包装



紙製  
容器包装



紙パック

# 減らそう! 食品ロス

「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことです。国内では食品ロスが年間612万トン発生しており、これは毎日一人当たりお茶碗1杯分(約132g)を捨てている計算になります。

日本では、食料を大量に生産、輸入している一方で、多くの食料を食べずに廃棄している現状があります。また、多くの食品ロスを発生させている一方で7人に1人の子どもが貧困で食事に困っている状況です。

私たち一人ひとりが食べ物をもっと無駄なく、大切に消費していく必要があります。

## ①買い物時の工夫

- ・冷蔵庫や食品庫にある食材を確認する
- ・必要な分だけ買って、食べきる
- ・利用予定と照らして、期限表示を確認する

## ②調理・食事での工夫

- ・記載されている保存方法に従って保存する
- ・残っている食材から使う
- ・食べきれぬ量を作る

## ③外食時の工夫

- ・食べられる量だけ注文する
- ・食品ロス削減に、積極的に取り組む店を選ぶ



×買いすぎ



×期限切れ



×食べ残し

スリーアール

# ごみ減量には 3R で取り組もう!

まずは

リデュース

## Reduce

ごみの発生・資源の消費を元から減らすことです。

- ・ごみになるものを買わない、もらわない
- ・買い物にはマイバッグを使う
- ・詰め替え製品を利用する
- ・物を長く大切に使い続ける
- ・生ごみの水をよく切る

次に

リユース

## Reuse

使えるものは、ごみにせずに繰り返し使うことです。

- ・リユースショップやフリーマーケットを活用する
- ・リターナブルびん(再利用容器)を利用する
- ・不要になったものを、必要としている知人に譲る

最後に

リサイクル

## Recycle

ごみとなるものは、資源として再利用することです。

- ・新聞、雑誌、ダンボールなどは地域の資源ごみ回収に出す
- ・ペットボトルや白色トレイなどは正しく分別する
- ・リサイクル製品を積極的に利用する